

報道関係各位

2008年 12月 18日

**速報！****『今年のロボット』大賞2008(経済産業大臣賞)受賞のご案内****二足歩行人型ロボット「Omnibot 17 μ i-SOBOT (オムニボットワンセブンミュー アイソボット)」**

株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー(代表取締役社長: 富山幹太郎/以下タカラトミー)が発売した、二足歩行ヒューマノイド型ロボット「Omnibot 17 μ i-SOBOT (オムニボットワンセブンミュー アイソボット)」(以下「i-SOBOT」)が、2008年に活躍した、将来の市場創出への貢献度・期待度が高いロボットとして、2008年12月18日に、「今年のロボット」大賞2008(経済産業大臣賞)の受賞が決定しました。

日本の科学技術を誇る、二足歩行ヒューマノイド型ロボット

2007年10月25日に発売され、2008年度版のギネス世界記録(TM)で『世界最小の量産されている人型ロボット』に認定された(この記録は2008年度版に限定)『i-SOBOT』は、ジャイロセンサーや、独自開発の超小型のサーボモーターユニット(全身17箇所)を搭載し、身長わずか16.5cmと「小型化」を実現すると共に、バランス感覚の優れた、スムーズで多彩なアクションをおこなうことが可能です。『i-SOBOT』の話す言葉は約180、行動パターンは約200種類、効果音は約90種類、そしてオリジナルの音楽を奏でることができます(国内版)。コントローラーでの操縦はもちろん、プログラミングや音声認識も楽しむことができます。このように、日本の科学技術を誇る『i-SOBOT』は、北米やヨーロッパなど、海外でも発売しており、国内約2万個、国外約2.7万個の出荷数を記録し、「日本の最新技術を搭載したロボット」として世界中で楽しまれています。

地球といのちのために。くり返し使える充電池「eneloop」とともに環境授業活動への参加

『i-SOBOT』は、地球といのちが喜ぶ商品を開発してゆく、三洋電機株式会社(代表取締役社長: 佐野精一郎 大阪府守口市/以下三洋電機)のブランドビジョン『Think GAIA』<sup>1</sup>に賛同し、くり返し使える充電池「eneloop」<sup>2</sup>を同梱しております。使いきる生活からくり返し使う生活への提案をする充電池「eneloop」を動力源としたロボットとして、三洋電機が国内外で行っている環境教育活動に参加し、「電池から地球環境を考えよう!」をテーマに、子供たちに環境資源の大切さを分かりやすく伝えるメッセンジャーとして活躍しております。また、『i-SOBOT』は身近な省エネ活動に焦点をあてた「省エネコンテスト」<sup>3</sup>(平成19年度)の応援キャラクターに採用されました。

## 日本のロボットアニメ・漫画が築いた「ロボットは友達」文化の象徴

産業用ロボットや介護用ロボットなど、さまざまな種類のロボットが世界中にあります。『i-SOBOT』のコンセプトは「ぼくの家初めてやってきた本格的な友達ロボット」であり、『i-SOBOT』という商品名の由来も、「わたし(アイ)と遊ぼう、ロボット(ソボット)」から来ています。このコンセプトの背景にあるのは、古くから日本人に親しまれているロボットアニメや漫画が築いた『ロボットは友達』という日本独特の文化であり、“日常生活の中でコミュニケーションを楽しむことができるマイ・ロボット”という、多くの日本人の長年の夢を『i-SOBOT』は実現いたしました。『i-SOBOT』には、アニメに登場してくるような「三枚目」の性格を持たせており、動物のものまね、エアギター、演劇、腕立て伏せ、3・3・7拍子、寝転んでお尻をかくなど、愛嬌たっぷりの動作を楽しむことができます。

さまざまなロボットが活躍している中で、“人とロボットとのコミュニケーション”を重視したエンターテインメント性のある『i-SOBOT』が、将来の市場創出への貢献度・期待度が高いロボットとして、『今年のロボット』大賞2008(経済産業大臣賞)に選ばれたことは、大変光栄であり、これからの国際社会の中で、日本のロボット文化が、映像・アニメとともに、日本を代表する新しい「想像力の資源」として、世界を繋ぐ友好と平和に貢献し、国を越えた新しい外交の力になることを期待しています。

『i-SOBOT』の商品詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.takaratomy.co.jp/company/release/press/pdf/p070720.pdf>

### 【『i-SOBOT』の歩み】

2007年 1月 「東京国際フォーラム2007」にてメディアに向けて初披露

2007年 6月 2008年度版のギネス世界記録(TM)より『世界最小の量産されている人型ロボット』に認定

2007年 9月 「東京インターナショナル・ギフトショー秋2007」

新製品コンテスト『グランプリ』受賞

2007年10月 『Omnibot17 μ i-SOBOT』発売

2007年11月 省エネ活動に焦点をあてた「省エネコンテスト」(平成19年度)の応援キャラクターに採用される

2007年12月 総理官邸にて、訪日中のアラブ首長国連邦(UAE)アブダビ首長国ムハンマド皇太子に、日本の技術力と文化を示したロボットとして、福田前総理から贈呈される

2008年 6月 「G8エネルギー大臣会合及び5ヶ国エネルギー大臣会合」歓迎夕食会で、甘利前経済産業大臣からG8各国、中国、インド、韓国の大臣へのお土産品として贈呈される

2008年11月 「グッドデザイン金賞」(平成20年度)受賞

この記録は2008年度版に限定されています。

### 1 『Think GAIA』ビジョンとは

“地球をひとつの生命体としてとらえ、人がこれからもこの星とともに生きていくために、本当に必要な商品だけ開発していく”という、三洋電機のブランドビジョン。

### 2 『eneloop』とは

買ってすぐ使え、充電してくり返し使い、使い終わったらリサイクルへ。充電電池と乾電池のメリットを兼ね備えた、暮らしを変える新しい電池として、2005年11月より発売。全世界60カ国以上で愛用され(2007年8月末時点)、「第3回エコプロダクツ大賞」の「環境大臣賞」(エコプロダクツ部門)や、2006年度「グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)」、2008年「iFデザイン賞」など、さまざまな賞を受賞。「eneloop」から広がった、くり返し使うライフスタイルの提案「eneloop universe」をコンセプトとするプロダクト群では、2007年度「グッドデザイン大賞」を受賞。

### 3 「省エネコンテスト」とは

経済産業省、環境省、省エネ家電促進フォーラムが主催。地球温暖化対策の一環として、家族や学校に向けた、日常生活のちょっとした工夫による省エネ実践のコンテスト。

## 商品概要

商品名：『Omnibot17  $\mu$  i-SOBOT(オムニボットワンセブンミュー アイソボット)』

価格：31,290円(税別価格29,800円、税5%：予価)

商品サイズ：(W)100×(H)165×(D)67mm(ロボット本体)

商品重量：約350g(バッテリー含む)

セット内容：組み立て済みロボット本体・液晶モニター付コントローラー  
三洋電機エネルギー専用充電器

バッテリー：ロボット 単4形ニッケル水素電池(三洋電機エネルギー)×3本(付属)  
コントローラー 単3形1次電池×3本(別売り)

発売日：発売中(2007年10月25日発売)

対象年齢：15歳以上

取扱い場所：全国の玩具専門店、ホビー商品取り扱い店、ネット通信販売等



『Omnibot17  $\mu$  i-SOBOT(オムニボットワンセブンミュー アイソボット)』

<報道各位から本件に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー 広報チーム TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380

<読者から商品に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー お客様相談室 TEL 03-5650-1031 <http://www.takaratomy.co.jp>